

世界銀行カンボジア技術支援プロジェクトに係る研修受入れ ～カンボジア農村開発省職員の地方道路に関する研修を実施～

国土技術政策総合研究所は、世界銀行防災グローバルファシリティ東京防災ハブからの依頼により、令和5年9月12日（火）カンボジア農村開発省からの研修員10名を受け入れ、技術支援研修に協力しました。

本研修は、世界銀行において、「日本－世界銀行防災共同プログラム」の支援のもと、カンボジアの農村部における道路アクセスと自然災害や気候リスクに対する地方道路のレジリエンスを向上させるため、カンボジア政府の農村開発省に技術協力を行っており、この技術協力の一環として、日本の道路整備・管理等の事例や最新技術及びマネジメントを紹介し、カンボジアでの地方道整備・管理に活かしてもらうために実施しました。

研修では、「日本における舗装の設計・施工・維持管理について」及び「日本における公共工事調達、維持管理等における民間セクターの活用について」の講義の他、1周約6.2kmの「試験走路」、「舗装走行実験場」の施設見学を行いました。



講義の様子



施設見学の様子

研修員からは、舗装や調達関連の活発な質問もいただき、大変有意義な研修となりました。